

べっぴ 市議会だより

No.172
2024.8.1

BEPOU
100th Anniversary
別府市制100周年

次の100年への第一歩

議会改革度ランキング
2023 発表！！

CONTENTS

- P 2 主な議案の概要
- P 3 議決結果
- P 4 議案質疑・常任委員会審査
- P 5 ～ 11 一般質問（14名が市政を問う）
- P 12 議会改革度ランキング 2023
- P 13 ～ 15 議会用語の解説 ほか
- P 16 永年勤続市政振興功労者表彰・編集後記 ほか

上人ヶ浜公園アーバンスポーツエリア

撮影者：別府市議会広報広聴委員会

委員 小野 和美



令和6年第2回定例会での25議案を可決！

6月7日から6月25日までの19日間にわたり開催された今定例会では、予算関係3件、条例関係6件、その他7件の議案が上程されました。

また、最終日には市長より追加議案として、人事案件5件、さらに議会より、議員提出議案5件、議員派遣1件が上程されました。

市長提案理由では、新型コロナウイルスワクチンの定期接種化や、旧山の手中学校の校舎等

の解体に伴う設計費の計上等について説明があり、議案質疑で活発な議論が行われました。

定例会初日に予算議案1件を先議し、定例会最終日の採決においては、4件の議案について一部議員から反対する旨の意思表示があり、そのうち議員提出議案2件が否決されました。その他の議案については、すべて原案のとおり可決等すべきものと決定しました。

～ 主な議案の概要 ～

●別府市一般会計補正予算（第2号）

※表中の金額は、1万円未満の額を切り捨てて表示しています。

住民税非課税世帯等生活支援特別給付金支給に要する経費 …… 14億470万円

国の経済対策である「低所得者支援及び定額減税を補足する給付」に伴い、物価高騰の負担感が大きい低所得世帯等へ特別給付金を支給するとともに、定額減税しきれないと見込まれる方へ差額を給付金として支給します。

●別府市一般会計補正予算（第3号）

予防接種に要する経費 …… 2億6,790万円

新型コロナウイルスワクチンの定期接種化に伴い、65歳以上及び60歳～64歳の重症化リスクの高い方を対象に接種を実施します。

地震津波等被害防止対策に要する経費 …… 4,012万円

災害非常用備蓄物資について、近年の大規模災害で課題となった事案を検証し、「別府市備蓄計画」を前倒しで進め整備します。

中学校の施設整備に要する経費 …… 1,800万円

旧山の手中学校の校舎等を解体し、仮設駐車場として有効活用するため、解体に伴う設計を行います。

●条例の改正

別府市立図書館設置及び管理に関する条例の全部改正について

別府市立図書館及び別府市共創交流拠点こもれびパークによって構成する複合施設の設置に伴い、条例を全部改正します。

第2回定例会における議案等の審議結果など

議案等番号	件名	議決結果	議案等番号	件名	議決結果
議第54号	令和6年度別府市一般会計補正予算（第2号）	原案可決 (全会一致)	議第68号	市長専決処分について	承認 (全会一致)
議第55号	令和6年度別府市一般会計補正予算（第3号）	原案可決 (賛成多数)	議第69号	市長専決処分について	
議第56号	令和6年度別府市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決 (全会一致)	議第70号	別府市教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	同意 (全会一致)
議第57号	別府市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部改正について		議第71号	別府市、別杵速見地域広域市町村圏事務組合公平委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて	
議第58号	別府市職員等の旅費に関する条例等の一部改正について		議第72号	別府市、別杵速見地域広域市町村圏事務組合公平委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて	
議第59号	別府市税条例の一部改正について		議第73号	別府市、別杵速見地域広域市町村圏事務組合公平委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて	
議第60号	別府市税特別措置条例の一部改正について		議第74号	別府市職員懲戒審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて	
議第61号	別府市立図書館設置及び管理に関する条例の全部改正について		議員提出議案第4号	地域における「こども誰でも通園制度」の制度拡充等を求める意見書	原案可決 (賛成多数)
議第62号	別府市布設工事監督者の配置及び資格並びに水道技術管理者の資格に関する条例の一部改正について		議員提出議案第5号	2024年度大分県最低賃金の改正等に関する意見書	原案可決 (全会一致)
議第63号	動産の取得について		議員提出議案第6号	義務教育費国庫負担制度堅持・教育予算拡充を求める意見書	
議第64号	新たに生じた土地の確認及び町の区域の変更について		議員提出議案第7号	政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充し全てのケア労働者の賃上げや人員増を求める意見書	否決 (賛成少数)
議第65号	他の普通地方公共団体の公の施設を本市の住民の利用に供させることに関する協議について		議員提出議案第8号	地方自治法の一部を改正する法律に対する意見書	
議第66号	市長専決処分について	承認 (全会一致)		議員派遣の件について	原案可決 (全会一致)
議第67号	市長専決処分について				

賛否の分かれた議案等賛否一覧表

議案 番号	件 名	議決 結果	会派・議員名																							
			自民新公会								公明党				市民クラブ		創世会		ビーワンべっぶ	行財政改革クラブ	新たな別府を創る会	日本共産党	創る未来の会	日本維新の会	有志の会	
			8人								4人				3人		2人		2人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	
			山 本 一 成	松 川 峰 生	松 川 章 三	吉 富 英 三 郎	小 野 正 明	安 部 一 郎	阿 部 真 一	日 名 子 敦	市 原 隆 生	穴 井 宏 二	小 野 佳 子	重 松 康 宏	加 藤 信 康	森 山 義 治	三 重 忠 昭	野 口 哲 男	黒 木 愛 一 郎	小 野 和 美	森 裕 二	泉 武 弘	森 大 輔	美 馬 恭 子	中 村 悟	石 田 強
議第55号	令和6年度別府市一般会計補正予算 (第3号)	原案可決 (賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×
議員提出 議案第4号	地域における「こども誰でも通園制度」 の制度拡充等を求める意見書	原案可決 (賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
議員提出 議案第7号	政府の責任で医療・介護施設への支援を 拡充し全てのケア労働者の賃上げや人員 増を求める意見書	否決 (賛成少数)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	
議員提出 議案第8号	地方自治法の一部を改正する法律に対す る意見書	否決 (賛成少数)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	

議案賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「－」、欠席者は「欠」、議長は「/」（採決に加わらない為）、法律により採決に加われない議案は「除」



（可決された意見書をHPにて、掲載しています）



議 案 質 疑

今定例会の議案質疑では、執行部が提出した令和6年度各会計補正予算や市長専決処分などの議案に対し、4名の議員が質疑を行いました。そのうち主な質疑内容を掲載します。

議第55号 令和6年度別府市一般会計補正予算（第3号）

【予防接種に要する経費について】

問 今年度の新型コロナワクチンの接種体制は。

答 接種対象者は、高齢者インフルエンザと同様に65歳以上の方と、60歳から64歳で、国が定める一定の障がいがある方です。接種時期は秋から冬、接種回数は1回、接種場所は市内指定医療機関となっています。

【中学校の施設整備に要する経費について】

問 旧山の手中学校校舎等の解体について、これまでのプロセスを踏まえて今のタイミングで解体を決定した理由は。

答 令和3年の山の手中学校跡地利活用における住民公聴会で校舎の利活用を含めて住民の皆様にご意向を伺いました。これを踏まえて民間事業者へ市場調査を行ったところ、管理教室棟は耐震工事をを行っているものの経年劣化による老朽化が著しいことから、校舎の利活用は難しいという意見が多い中、山の手中学校跡地利活用方針を令和4年3月に策定し、民間への売却若しくは借地による利活用を検討することとなりました。本年1月に民間へのサウンディング調査を実施し、その調査結果も市場調査と同様の意見でした。さらに、新図書館建設に伴い、周辺施設の臨時駐車場として利用していた文化ゾーンの駐車台数が約200台減少しており、周辺駐車場が不足をしている現状が生じています。以上を踏まえて、令和6年4月24日に公共施設マネジメント推進会議にて、周辺施設の駐車場不足という喫緊課題に対応する目的で、校舎等を解体し、駐車スペースを最大限広げて仮設駐車場として利用することが決定しました。

問 仮設駐車場としての利用期間は。

答 利活用の方向性が明らかになるまでは当分の間仮設駐車場として活用する見込みです。利活用の将来的な姿に関しては、今後住民の意見を十分に取り入れる形で検討していきたいと考えています。



（議案質疑の詳細はHPにて掲載しています。）

常任委員会審査

会議での提案者の説明及び質疑が終了した後、さらに検討するため、常任委員会等に議案審査を付託しています。

●総務企画消防委員会

国のモビリティ人材育成の助成制度を活用した補助金を活用して、誰もが利用できる地域公共交通を推進する人材を育成するための費用を補正計上しているとの説明がありました。

委員から、育成した人材を、どのように活用するのかという質疑がなされ、当局から、育成した人材は様々な活用が考えられるため、将来的にはインバウンドに関するビジネスへの活用なども想定しているとの答弁がありました。

●観光建設水道委員会

楠銀天街アーケード撤去業務について、撤去を進めるにあたり、より安全に作業を行うためのクレーン作業の追加が必要となったことや、歩行者等の安全を確実に確保しつつ周辺交通等への影響を最小限とするため、仮設費用や交通誘導員を増員するための費用を補正計上しているとの説明がありました。

●厚生環境教育委員会

「議第69号 市長専決処分」関係部分では、当局より、今回の専決処分の経緯や市内小中学校の机及び椅子を当初2か年で更新する予定を物価高騰等の社会情勢を踏まえ、早急に製品を確保し、全体の購入価格を抑えるため、単年度で完了させる計画に変更を行い、長期休暇等を活用し、入替えを行うとの説明に対し、委員より、予算額に対し、小学校がおおよそ40%、中学校がおおよそ70%の執行状況であったため、この経緯について質疑がなされ、当局より今回、市内企業及び製造メーカーの企業努力により、安価で契約することができたとの答弁がありました。

有志の会

しおて ゆうた
塩手 悠太 議員



創る未来の会

なかむら さとる
中村 悟 議員



「人口減少に伴う諸課題～広域連携・移住政策～」について

問 別府市の人口減少は人口推計ビジョンを上回るペースで進行している。全国的な課題でもあるため、今後、全自治体の人口確保のための競争が激しくなると思う。競争も一定程度重要と考えるが、大切なのは地域の人たちが安心安全に暮らせるための行政サービスを提供することだと考える。これからの重要意識として、自分たちの自治体の事だけではなく、周辺自治体の人たちの暮らしの事も考える広域連携の意識が重要だと考えるが、見解は。

答 直近（国勢調査）令和2年時点で人口ビジョンの118,201人を下回っています。広域連携については、今後必要性は高まるものと考えており、現在大分都市広域圏にて31の基本連携項目について連携協約を締結しています。

問 人が安心安全に暮らしていける地域（別府）を次代につないでいくためには、一定の人口を維持・確保することが必要。それには移住政策や人を大切に選ぶ別府を創生しなくてはいけないと考え、特に若者世代の流入が重要だと考えるが、見解は。

答 単純な移住政策だけではなく、魅力ある就労先の確保、子育て世代が満足できる環境整備などを並行して取り組んでいくことが重要だと考えます。

問 選ばれる別府の創生にはソフト面の環境整備が必要だと感じる。特に他市の取組で良いと感じる「病児保育の送迎サービス」（子どもの体調不良時に保育所から病児保育へ送迎してくれる事業、これにより保護者の当該日の早退は回避可能）等の取組を採用するのも選択肢として考えるが、見解は。

答 総合的な移住政策の中で判断する必要があります。他市の先進事例について調査研究していきます。

「産前産後ケア」について

問 日本において1人の女性が一生のうちに産む子どもの数の指標となる「合計特殊出生率」は1.20となり、若年人口（0～14歳）が急激に減少する2030年代に入るまでの6年程度が傾向を反転できるかどうかのラストチャンス。私も議員として危機感と緊張感を持ってこの課題に取り組んでいく所存である。リゾート産後ケアだが、市内利用者には宿泊費も補助をしてもっと安価でより多くの人が利用しやすい事業にすべきではないか。

答 令和6年度は市民のウェルネスを目的に別府市民を対象とした実証事業とし、市内の産婦の皆様がより利用しやすいプランが実現できるよう協議を行っているところです。

「学校行政」について

問 私が独自に児童生徒に聞き取りを行ったところ、喫食時間が小学校で20分から25分、中学校で10分から15分程度という声を複数人から聞いた。保護者の方からも短すぎるのではないかと声を頂いている。実質の喫食時間がどれくらいあるのか、また、児童生徒は喫食時間について十分と感じているのか。一度アンケート調査をしていただくことを要望するが、見解は。

答 給食時間は各学校長の判断で教育課程に基づいて設定しています。アンケートを実施して給食時間の捉え方を把握し、課題があれば学校長と十分協議をして解決を図ってまいります。

児童生徒に喫食時間に関してのアンケートを取っていただけるということで理解した。給食時間は子どもの命と健康を守るために必要な時間。環境に今一度是非適切な対応をお願いしたい。

ビーワンべっぷ

おの かずみ
小野 和美 議員



公明党

いちばら たかお
市原 隆生 議員



「子育て支援」について

問 市の休日保育の対象は、認可保育園・認定こども園・地域型保育事業を利用している保育給付認定2号・3号を受けている園児であり、同じ5歳児である新2号認定を受け公立幼稚園に通っている園児は利用できない。サービス業やシフト制体系で働いているひとり親家庭や、共働き家庭は多くあり、休日に子どもだけにいる家庭も多くなることが分かった。そんな子どもや保護者のためにも利用できるようにならないか。

また、小学1年から3年くらいまでの児童についても同じ状況である。施設の負担等課題もあるが、対象者を伸ばした施設利用をお願いできないか。

答 条件を拡大し、子どもの所属する施設の種類に関わらず子どもを預かることは、様々な家庭に寄り添うためにも有効な方法であると考えます。一方で、受入れ施設の負担が増加する事にもなり、まずはどの程度のニーズがあるのか、どの程度受入れが可能なのかなど十分に調べる必要があると考えます。

「高齢者の居住支援」について

問 高齢者の方の賃貸借契約に何度か同行したが、保証人問題など高齢者の住まい探しはハードルが高いと痛感した。近隣他市でも高齢者の住まい等の問題解決に向けて協議を始めていると聞いているが、別府市はどうか。

答 今年2月に外部の民間団体含め、住宅確保要配慮者を対象とした第1回別府市居住支援ネットワーク会議が開催されたところです。現時点においては、協議会の立ち上げまでは議論に至っておりませんが、今年度も会議を重ねた上で、本市の方向性を決めていくと共に入居の困り等についても情報共有を図ってまいります。

「空き家の活用」について

問 令和5年の住宅・土地統計調査によっても全国の空き家の数も全ての住宅数に占める空き家の割合（空き家率）が過去最高となっている。別府市でも人口減少に伴い空き家の増加が心配されるが、今後の見通しと取組についてお聞きしたい。

答 平成25年の空き家実態調査では940件でしたが、令和4年度の調査では2,407件の空き家を確認しております。この9年間でおよそ2.5倍となっており、今後も増加していくものと考えています。このような状況で、管理不全空き家には“税の優遇をしない”など、空き家の管理強化や活用策を盛り込んだ「改正空家法」が施行され、空き家の増加抑制に向けた取組を進めています。

問 そこで提案だが、それらの空き家を地域の拠点として整備し活用することはできないか。他市では高齢者のサロンとして空き家を活用し、地域の方がきれいに管理されているなどの例があるがいかがか。

答 空き家の利活用を促進する取組として、空き家相談会や空き家バンクへの登録勧奨などを自治会や住民と連携し行っております。また、空き家利活用事業としては移住を検討している方を対象としたお試しの移住施設、さらには企業・創業を目指す人材がチャレンジしやすい環境作りのためのコワーキングスペースなど空き家を再生し、拠点施設としての整備を行っております。今後も地域の方々や、民間事業者と連携を図りながら、他都市の取組などを参考に、地域の核となるような利活用についても調査研究を進めていきます。



「マイナンバーカードと健康保険証の連携」について

問 マイナンバー法の一部改正により、施行期日が本年12月2日からとなった。別府市の国保では、8月1日の更新が最後となり、現行の保険証の使用は来年7月末までとなる。マイナンバーカードによる保険証には、まだまだ課題があると思う。国保の被保険者によるマイナンバーカードと保険証の紐付けをされた、いわゆるマイナ保険証の利用登録者数と利用率は。

答 (公社)国民健康保険中央会による直近の資料では、令和6年4月末現在で、別府市の国保の被保険者は23,081人、マイナ保険証の登録者数は13,495人、マイナ保険証の保有率は58.47%。病院等でのマイナ保険証の利用率は7.74%となっています。

問 今の数字からマイナ保険証を持っても現行の保険証を使用している人が多いことが分かる。特に高齢者や障がい者の方には、マイナンバーカードの管理や病院等でのマイナ保険証の利用が難しい人も多いのではと考える。12月2日以降の被保険者が安心して医療を受けられるような対応はどうなっているのか。

答 マイナンバーカードを持っていない方やマイナンバーカードと保険証の紐付けをしていない、いわゆるオンライン資格確認ができない被保険者については、当面の間、申請によらず「資格確認書」を交付します。この「資格確認書」は、現行の保険証と同じカードサイズで、病院等にて受診できます。マイナ保険証での暗証番号や管理に不安がある被保険者には、病院等にて機器による顔認証本人確認、または目視による本人確認に限定した「顔認証マイナンバーカード」もあり、利用しやすい環境を市民課において整えています。



「山の手中学校跡地、上人ヶ浜公園の利用および商店街対策」について

問 山の手中学校跡地にある校舎をリノベーションし、市民要望の文化施設・福祉施設・子ども施設、インターナショナルスクール等の計画はなくなったということか。

答 喫緊の課題を解決すべく、駐車スペースを広げたものです。今後は利活用に沿って地域経済活性化等、引き続き検討いたします。

今後はリノベーションができなくなる理由を市民にしっかり説明していただきたい。

問 商店街対策の基本は商業調査をしっかり行い、商業者の声を聞くことである。交通問題、イベント広場の充実、人集めの政策はどうなっているのか。

答 関係機関と連携し、様々な関係者の意見を伺い、今後協議、検討してまいります。

問 上人ヶ浜公園の整備にあたって、石碑・石塔・遊具・ベンチをきれいにしていただきたい。また、希少植物は本当に大丈夫なのか。

答 石碑周辺の雑草等は撤去を行い、遊具については安全確認を行います。また、希少植物については海沿いに分布しており、コテージと当たらない計画となっています。

問 上人ヶ浜公園における地域との問題解決を図るための提案だが、ベンチの問題、駐車場確保の問題等々、地域、市民からなる協議会を作られてはどうか。

答 協議会について、設置予定はありませんが、今後は営業に関する事項について事業者より情報発信を行う予定です。

公園は、市民のものであるという原理原則を忘れないでいただきたい。公園活性化のため、利便性施設の収益で管理運営に努めていただきたい。



「安心の就学への5歳児健診」について

問 別府市では、乳幼児健康診断を実施しているが、集団健診の実施状況は。

答 1歳6か月児健診の受診率は95.9%、2歳6か月児歯科検診の受診率は89.7%、3歳5か月児健診の受診率は101.3%です。

問 発達障害などを早くに発見し、安心して小学校入学につなげるための「5歳児健康診査」の全国的な実施に向けて今年1月1日より健診費用の助成を開始している。別府市における就学前の相談の現状と対応は。

答 発達相談会を毎月複数回予約制で開催しています。参加希望者が多く数か月待っていただくことがあります。相談会から必要に応じ、療育機関などの医療や福祉サービスにつながりますが希望者が多く、医療機関では初診までに何か月も時間を要する状況です。

問 幼稚園・保育園において配慮が必要な子どもに気付く保育従事者より5歳児健診の導入のご意見・ご要望を頂く。周囲とうまく関われない発達の特性を持つ子どもは、就学後に適応できずに不登校や問題行動を起こす可能性がある。5歳児健診により適切な支援や療育につなぎ問題なく学ぶことができる。その子の特性を理解し関わり方を相談できる場として5歳児健診とフォローアップ体制は重要。今後の5歳児健診の実施についての考えは。

答 別府市では乳幼児健診での把握、相談会での個別支援に重きを置いています。5歳児健診実施にあたっては、教育・福祉部門との連携が不可欠であり、医師や心理士などの確保や療育機関の受診待ちの長期化等の課題があります。また、地域における必要な支援体制の整備が必要であることから関係部署や関係機関と協議を重ねてまいります。



「救急車の適正利用」について

問 別府市消防本部では救急出動の増加や搬送困難事案に対応するため、救急車1台の購入と救急隊1隊の増隊に向けて取り組んでいるが、直近3年の救急件数について伺う。

答 令和3年6,483件、令和4年7,714件、令和5年8,357件となっています。

問 救急車の不適切な利用が全国的に問題となっており、今すぐに救急車で病院に行く必要のある人のために、私たち一人一人が救急車の適切な利用について考えていかなければならないと思うが、救急車の適正利用についてはどのように考えているか。

答 緊急でない時に救急車を要請すると、本当に救急車を必要とする事故や急病が発生した際、現場到着までに時間を要し、「救える命」が救えなくなることも考えられます。そのため、緊急性がなく自分で病院に行ける場合は救急車以外の自家用車、交通機関等を利用させていただきたいと思います。また、体調が悪くなった場合には我慢せずに119番通報していただき、救急車を要請することも救急車の適正利用と考えています。

問 急なケガや病気の際の相談窓口や、救急車の不適切な利用への対策として、救急安心センター事業（#7119）が全国的に普及しつつあるが、別府市での導入の考えを伺う。

答 #7119事業については、救急医療体制に効果が期待できる事業の一つと考えていますが、現在の制度上、県下で統一して行う必要があることから、大分県を中心に県内各市町村と協議を行っているところです。





「竹産業のイノベーション」について

問 竹産業が発展していくには、優秀な人材が欠かせないと思うが、竹工芸家は年々増加しているのか。

答 別府市には全国で唯一、竹を学ぶ竹工芸専門の訓練施設、大分県立竹工芸訓練センターがあり、毎年、県内外から12名の生徒が入学し、2年間竹工芸を学んでいます。卒業後、毎年4,5名程度が市内で就職しています。また、一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会では、経済産業大臣指定の伝統的工芸品の製造に従事されている技術者の中から、高度の技術・技法を保持する方を「伝統工芸士」として認定しており、現在、別府竹細工については、製造に12年以上従事し、難関の試験に合格した17名が伝統工芸士の認定を受けています。

問 総合戦略には、竹産業のイノベーションにより「竹細工のまち」として観光振興を掲げている。取組の状況と成果は。

答 竹産業のイノベーションの創出については、担い手の確保等によるブランド力の向上を掲げており、先日、海外の専門家が主催する「次世代バンブーアート賞」の授賞式が竹細工伝統産業会館で開催され、全国からの応募者の中から、県内から1名、市内から1名の竹工芸家が受賞しました。販売や展示、ワークショップを開催する若手の工芸家もあり、優秀な人材が育っています。繊細でしなやかな竹細工のアクセサリーや名工によるアートピースは観光客や愛好家からも注目されており、今年度は別府竹細工の作家にスポットを当てたウェブサイトを制作し、竹工芸のまち別府の情報発信を行う予定です。広報と啓発に努めます。



「別府市の地域経済の課題解決」について

問 大分県の市町村民経済計算によると、別府市民の一人当たりの所得は約232万円で大分県平均の約260万円より低く、県内18市町村中10番目である。このことから別府市の市民所得は、県内他市と比べ相対的に低い水準にある。このような厳しい状況に至る要因として、労働生産性の向上や、産業間の連携、そして市内でお金が循環される経済循環を推進する取組などが不十分なことが考えられる。別府市の労働生産性の状況は。

答 2021年の別府市の労働生産性は約324万円です。一方、大分県平均は約383万円で別府市の労働生産性は、県内18市町村中13番目です。また、別府市内の宿泊・飲食サービス産業は約172万円、製造業は約304万円、小売業は約322万円、運輸・郵便業は約166万円です。

問 別府市の地域経済循環率による市内から市外へ流出している具体的な金額は。

答 別府市の地域経済循環率は約81%です。分配と生産から見ると、約837億円が市外に流出しています。

問 人口減少に歯止めがかからない中、様々な地場産業や地場企業が苦境に直面している。活力ある地域社会の形成につなげていくためには、別府市の労働生産性の向上、産業構造の再建、第一次産業の立て直し、そして市内でお金が循環する仕組みの構築などに取り組むことが今後の地域経済の発展と持続可能な別府市の実現につながると考えるが、別府市の見解は。

答 ウェルネス事業を通して、観光の高付加価値化を進めて市内の事業者が稼いでいけるロールモデルを作ります。また食と観光を通して、農業をはじめ地元産のものを域内で回していく経済循環をしていきます。



「市営住宅入居者の高齢化と買い物支援」について

問 市営住宅の入居者で高齢者についての状況はどうなっているのか。

答 市営住宅の全入居者に占める65歳以上の高齢者の割合は約52%、その内訳は65歳から74歳までが約21%、75歳から84歳までが約24%、85歳以上が約7%となっています。また規模の大きい団地では、光の園住宅の75歳以上が約44%、鶴見住宅の75歳以上が約36%、亀川住宅の75歳以上が約39%となっています。

問 市営住宅の世帯構成はどのようになっているのか。

答 市内すべての市営住宅の入居者の世帯構成ですが、単身世帯が約50%、2人世帯が約34%、3人以上の世帯が約16%となっています。

問 単身世帯が多い中で高齢のためお店までの距離が遠い、また、買い物を持って階段を上るのが大変であるなど切実な声がある。その解決策の一つとして移動販売車があると思う。市営住宅における移動販売車の状況は。

答 現在、複数の市営住宅で買い物が困難な方の支援として、移動販売車による販売が行われていることを把握しています。

問 先日販売車の現場に立ち会ったが商品も多く良く考えられている。しかし残念なことに知らない方もいる。その時間に行けない方もいる。幅広くニーズに 대응していくためにも別府市が仲を取り持ち、販売業者を増やしたり、ホームページで周知を行うなどしてはいかがか。

答 買い物が困難な方につきましては市営住宅のみでなく、別府市全体で取り組んでいく必要がありますので、関係部課と情報共有を図りながら、市営住宅におきましても必要に応じて対応していきたいと考えています。



「どうする温泉の保護と有効活用」について

問 温泉の湯量減少や温度低下が指摘されている。市は温泉保護と有効利用を推進するため、「別府市温泉マネジメント（管理）」計画を策定した。この計画に対する市長の所見と実施に対する決意を。

答 別府にとって温泉は生命線です。10年、20年先を考えた計画です。計画を遂行するためには、市民や事業者の方の協力が不可欠ですので、ご理解を頂きながら計画を進めてまいります。

問 計画は、短期・中期・長期に分かれて20年かけて到達点を目指すとなっているが、できることから優先実施すべきではないか。

答 計画については、別府市全体を網羅していますので、時間はかかりますが、局部的、部分的にできるだけ早急に取り組んでまいります。

問 2014年に九州大学病院別府病院の前田豊樹先生が公表している調査結果によると、温泉浴に高血圧、高脂血症、うつ病、気管支喘息の予防に効果があるとしている。これまでの見る観光が主体だった別府観光を、これからは温泉効果の科学的な根拠等を示し、「医療・健康・美容」に取り組むことで別府の産業構造を変えることにつながると考える。この際、保険が使える歩行浴場をつくり、市民の健康づくりや、観光客にも参加してもらうことで滞在日数の増加につながり、観光消費を押し上げる効果を生むので積極的に取り組んでほしいと考えるが市長の見解は。

答 様々なデータを収集し、専門家からのご意見も頂きつつ、市民、観光客の方が長期滞在され、健康づくりを行う仕組みが新湯治・ウェルネスツーリズムのコンセプトだと考えています。保険適用については、現在関係機関と協議を行っています。



「授業時数・学校行事の見直し」について

問 文科省の調査で、標準授業時数を大きく上回って実施している学校が一定数あることが判明したが、別府市の小中学校の状況は。

答 令和4年度の年間授業時数は各学年とも国が定めた標準授業時数を上回り、全体平均で年間54時間上回っていました。

問 不測の事態や、行事などを考慮して編成することは理解しているが、児童生徒の負担軽減と共に、教職員の働き方改革につながるよう授業時数や学校行事の見直しをすべきであると考えているが。

答 令和7年度の教育課程に反映されるよう各学校に指導していきます。

「民生委員・児童委員の活動費等」について

問 複雑多様化する社会の中で、委員の負担も増している。あわせてガソリン料金の高騰や物価高などによる活動費の負担も増していると考えている。業務の負担軽減や活動費の増額についてどのように考えているか。

答 相談内容の精査や各相談支援機関の情報提供などを行い負担軽減に努めています。また福祉協力員制度ともあわせて地域の福祉力の向上につなげています。活動費については県への要望、他市の交付状況を調査し考慮していきます。

「ヤングケアラーの支援」について

問 市の独自調査で、支援を必要とする子どもたちが107名程いるという結果が出た。支援の充実には、一人でも多くの正規職員を含めた人の配置と組織的な取組が重要であると考えているが。

答 臨床心理士2名とヤングケアラーコーディネーター1名、子育て支援員3名で対応しています。今後も関係機関と連携し子どもと家庭に寄り添った支援を行っていきます。



「スケッターの活用」について

問 介護施設等とお手伝いしたい人をつなぐマッチングサービスの「スケッター」だが、これは介護の資格が必要ない部分をお手伝いするもので、例えばレクレーションのお手伝い、イラスト、ポスター作製、掃除、配膳、皿洗いといったスポットのお手伝いをするものである。若者は介護の現場に興味を持つきっかけにもなり、高齢者の方には健康づくりや生きがいづくりの目的として活用もいただける。近年では自治体との協定も行われており、東京都中野区、埼玉県川口市、今月は東京都品川区などで「スケッター」を活用した連携が行われている。別府市でも、介護人材不足が起きている現状において、このマッチングサービスを検討してみてはいかがか。

答 今回初めてこのマッチングサービスについてお聞きしたところですが、確かに新しい取組として、介護施設の困りが解決できる一助になるのかもしれないので、今後、現場のご意見を聞きながら研究してまいります。

「市営温泉と共同温泉」について

問 10年20年後に市営温泉・共同温泉を守るためには、全ての市営温泉に指定管理者制度を適用するのではなく一部の市営温泉を、例えば観光客向け市営温泉にすることや、市民や市民以外で料金差を大きく設けることなどによって、周辺の共同温泉への入湯者誘引にもつながるのではないかと思うが、この点についてどう考えるか。

答 地域に存在する市営温泉の利用客の多くが市民であり周辺に共同温泉もあることから、別府市における温泉文化等を踏まえつつ、観光客をはじめ多くの方々の利用に供されるための方向性など、十分に研究が必要と考えます。

議会改革度ランキング 2023

県内3位、九州11位、過去最高順位の全国123位

議会改革度ランキング

早稲田大学マニフェスト研究所が議会改革度の状況について共通指標を用いてランキング化するもので、全国全ての地方議会を対象に実施、今回の調査では全国1,788議会ある中、1,562議会が回答した結果です。

調査は「情報共有」「住民参画」「議会機能強化」の3つの分野の評価点数の合計で様々なランキング評価がされます。

別府市議会の議会改革の特徴

- ・令和5年度から正式に議員タブレットを導入しデジタル化、ペーパーレス化を推進
- ・市民と議会との対話集会では、学生から各市内団体との意見交換を実施
- ・災害時の議会対応に関する内部規定の制定等の取組
- ・議会活動及び議員情報メニューの追加等の実施

過去最高順位の全国123位に

別府市議会は、今回の調査で全国123位となり、2010年の調査開始以降、これまで247位（2016年調査）が最高でしたが、昨年の563位から123位と大幅に順位を上げ、過去最高の評価結果となりました。



別府市議会 議会改革度調査 2023 結果

全国総合 123 位

得点：1,555 点 / 8,665 点
(全国平均：800.9 点 最高点：3,740 点)

県内総合順位 **3 位**

自治体区分内*順位 **69 位**

※全国「一般市」内での順位

分野別順位・得点

《情報共有》

全国順位 263 位

県内順位 **1 位**

自治体区分内順位 165 位

《住民参画》

全国順位 126 位

県内順位 **2 位**

自治体区分内順位 67 位

《機能強化》

全国順位 127 位

県内順位 **2 位**

自治体区分内順位 73 位

令和6年度も、引き続き市民に開かれた議会の実現を目指して、
議会改革の取組を進めてまいります！

議会用語の解説について



「二元代表制」ってなに？

住民による直接選挙で首長と議会議員を選ぶ制度です。ともに住民を代表する首長と議会が相互の抑制と均衡によって緊張関係を保ちながら、議会が首長と対等の機関として、自治体の運営の基本的な方針を決定（議決）し、その執行を監視し、また積極的な政策提案を通して政策形成の舞台となることこそ、二元代表制の本来のあり方であると言えます。

「専決処分」とは？

議会が議決をしなければならない事項について、時間的に議会の招集を待てない緊急を要する場合に市長が議会に代わって意思決定をすることです。

「討論」とは？

採決の前に、議員はその案件に対して自己の意思を賛成・反対（趣旨説明）の立場で表明することです。討論は、単に自己の賛否の意見を明らかにするだけでなく、自己の意見に反対の議員や賛否の意思を決めかねている議員に対し、自己の意見に賛同するよう理由を述べます。

虚礼廃止にご理解ご協力を

公職選挙法に基づき、虚礼廃止の徹底を行っています。

別府市議会ではこの一環として、初盆のお供えには、御霊のご冥福を祈る「追悼あいさつ文」を持参して、お参りすることにしています。

政治家が、暑中見舞い状を出すことや、お中元などを贈ること、お祭りへ寄附することは、法律で禁止されています。

また、有権者の皆様が、政治家に勧誘・要求することも法律で禁止されています。

市民の皆様には、趣旨をご理解のうえご協力をお願いいたします。

請願・陳情

どなたでも市議会に請願・陳情することができます。請願とは、国や県・市に対し要望や意見を述べることをいいます。別府市議会に請願書を提出するには別府市議会議員の紹介が必要になります。

詳しくは別府市議会ホームページをご覧ください。どうか、議会事務局までお問合せください。

なお、令和6年第3回定例会の請願の受付期限は8月22日（木）17時までです。



別府市議会 議会見学のご案内

別府市議会では、閉会時に議会見学を実施しています。
見学を希望される方は、別府市議会ホームページから
ご希望の見学日の1か月前までにお申込みください。



市議会を見てみよう!

別府市の今と未来を考える場所

議会見学

別府市議会では、議場の見学を受け付けています。
議場を見てみたい、市議会の役割や仕組み等を聞きたいなど
ご希望がありましたら、議会事務局までお問い合わせください。

場 所： 別府市役所 議会棟

実施日： 平日（月～金曜日）9：00～16：30
議会開催中（3・6・9・12月）及び
議会の会議等のある日を除く

内 容： 議場見学、委員会室見学、議会のしくみの
説明、議員への質問等
（概ね30分から1時間程度）

対 象： あらかじめ申込みのあった5名以上の団体・
グループ

その他： 議会運営の都合により、ご希望に添えない
場合があります
見学の様子を撮影したものを広報媒体に掲
載する場合があります
あらかじめご了承ください



別府市議会・広報広聴委員会

お申込み
お問合せ

0977-21-1547

<https://www.city.beppu.oita.jp/gikai/>



別府市議会HP
議会見学のご案内

議会を傍聴してみませんか

別府市議会の本会議は原則として公開されており、「音を出さない」「飲食をしない」など、傍聴席でのルールを守っていただければ、どなたでも傍聴することができます。

本会議を傍聴するには・・・

- ①本会議当日に、議会棟4階の傍聴席へ直接お越しください。
(開会時間 30 分前から受付を開始し、会議中も随時受け付けております。)

- ②受付にて傍聴のルールを確認し、
傍聴人受付簿に住所・氏名などをご記入いただきます。

- ③傍聴券を受け取って入場をしてください。

※聴覚障がいのある方が傍聴をされる場合、
手話通訳や要約筆記の申込みも対応しています。
ご希望の方は、手配をいたしますので傍聴日の
3日前までに別府市議会事務局へお申込みください。



傍聴席の様子



車椅子スペース

令和6年第3回市議会定例会会期日程（予定）

9月2日 議案上程	17日～19日 一般質問
5日 議案質疑・委員会付託	20日 一般質問（予備日）
6日 常任委員会審査	25日 各常任委員会委員長報告 討論、表決
9日～11日 予算決算特別委員会	
12日 予算決算特別委員会 表決	

※日程は変更することがあります。

別府市議会では、市民の皆様
に議会をより身近に感じていた
だけるよう、ケーブルテレビと
インターネット、スマートフォン
タブレット端末による本会議の
生中継と録画中継による本議
会の放送を行っています。



ケーブルテレビでの中継
CTBメディアとんぼチャン
ネルで生中継します。

インターネットでの中継
別府市議会ホームページ
<https://www.city.bepu.oita.jp/gikakai/>

放送メディア

放送内容

本会議開催日（午前10時から）

放送日時

本会議を
中継しています



永年勤続市政振興功労者表彰

第100回全国市議会議長会定期総会において、永年にわたり市政の振興に貢献された功績により特別表彰等を受賞された議員に対し、6月定例会最終日の議事終了後、表彰状の伝達式を執り行いました。

永年勤続 25 年：野口 哲男 議員 松川 峰生 議員 黒木 愛一郎 議員



左から 日名子副議長、長野市長、野口議員、松川議員、黒木議員、加藤議長

湯けむり総パレードに参加しました

令和6年4月7日、第110回別府八湯温泉まつりの湯けむり総パレードに別府市議会が参加しました。



©Team Beppyon



編集後記



皆様におかれましては平素より、市議会に對しましてご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

別府市議会では3月議会より、ケーブルテレビでの議会中継において、各議員の一般質問内容が市民に分かるよう、画面の上部に質問項目の表示をしております。また、6月議会より、議会を傍聴された方へ別府市議会に関するアンケートを開始いたしました。

この他に、議会を身近に感じてもらうために、小中学生や一般の方を対象に議会施設見学を受け入れております。議員が議場等のご案内、議会の仕組み等を説明し、皆様からの質問に答えします。親しみやすく・分りやすい議会運営に広報は必要であり、広報広聴委員としての役割は重要と感じております。市民の声を聴く事は議員の一番の役割です。

議員率先で課題に取り組み尽力してまいりますので何卒よろしくお願い申し上げます。

別府市議会広報広聴委員会

委員 小野 佳子

No.172 令和6年8月1日 編集：広報広聴委員会 発行：別府市議会

住所 〒874-8511 別府市上野口町1-15 TEL 0977-21-1547

メール sec-cc@city.beppu.lg.jp ホームページ <https://www.city.beppu.oita.jp/gikai/>